

日本教育大学協会理事会開催

日本教育大学協会理事会が5月10日（金）、東京の学士会館で開催された。

冒頭の村松泰子会長（東京学芸大学長）のあいさつでは、昨年度2月の教大協理事会以降のミッションの再定義の進捗状況について、文部科学省から情報をいただいた上で、政権交代後の教育政策の動向なども合わせて伺い、教員養成系の大学・学部がとるべき道を考える指標となればありがたいと述べた。

また昨年来問題になっているいじめの問題に関して、教大協として会員大学・学部に調査を行い、いじめに関する教員養成課程の授業、研究活動、社会貢献活動及びいじめを研究課題にしている研究者に関する情報が沢山集まり、3月末に教大協ホームページ及びプレスにも公表を行った。このように大学が行うべきことを着実にやり、社会に対してメッセージを出していくことも大事なので、今後とも協力をお願いしたいとあいさつがあった。

引き続き高口努初等中等教育局教職員課長から、①教員の資質能力向上に係る先導的取組支援事業の概要、②認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得の特例について、③教員講習開設事業費等補助金及び免許更新制高度化のための研究事業（新規）の概要、④栄養教諭対象の更新講習の開設について、出口寿久初等中等教育局参事官付学校運営支援企画官から、①コミュニティ・スクールについて、②学校評価について、池田貴城高等教育局大学振興課長から、①政府等における教育改革に関する議論の動向（1. 教育再生実行会議、2. 産業競争力会議、3. 自由民主党教育再生実行本部）、②大学分科会の審議状況について、③教員の資質能力向上にかかる当面の改善方策の実施に向けた協力者会議における審議状況について、④地（知）の拠点整備事業（大学COC（Center of Community）事業）、⑤体罰の実態把握について（第1次報告）、それぞれ説明があり、活発な意見交換が行われた。

文部科学省説明後は、はじめに監事の選出が行われ、平成24年度決算書（案）、平成25年度事業計画（案）、平成25年度予算（案）について承認された。その後、平成24年度事業報告、各委員会及び地区会等の報告を行った。



村松会長



高口教職員課長



出口学校運営支援企画官



池田大学振興課長



文部科学省の説明に熱心に聞き入る各理事